

すこやかちゃん



まなみ 愛心ちゃん(平成19年4月24日生)
両親＝高木偉樹・史乃さん〔南堀之内〕
「私は、お祭りが大好き！
今度は、お神輿をかつぎたいな！」



れいな 玲奈ちゃん・たくや 拓也ちゃん
(平成15年7月9日生・平成14年4月26日生)
両親＝五木田 功・真理さん〔中谷里〕
「双子のように育ちました。
これからも仲良くしてね。」



みゆう 心優ちゃん(平成19年5月22日生)
両親＝吉田博茂・怜子さん〔蛇園〕
「アンパンマンが大好きな元気な女の子☆
毎日イタズラで大忙し!!」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



農村を救った和のサムライ 大原幽学

9 先駆的な農業指導

今回は幽学が指導した画期的な農業指導のいくつかをご紹介します。

当時の農業は米作りがその中心です。幽学は、苗代づくり・田植え・

除草作業・見回り・施肥・農具の使用など、実に丁寧に水田耕作の指導

を与えています。特に田植えは、正条植として知られています。六尺四

寸おきに縄をはり、この間に八寸間隔に苗を植えていく方法です。この

ころは一般的に雑植法が主流。近畿地方を中心に発達した最新技術を、

いち早く取り入れたものといわれています。門人の記録には、幽学が熱

心に「田植指南」「田植伝授」している様子が描写されています。

また、農事予定表の作成も勧めました。『年中仕事割控』には、その

家の耕作面積、作物の種類、作業内容、労働力の見積もりが記入され、

これに続いて一月から十二月までの農事予定が書き込まれています。そ

こには、性学の講義の日や休日もちや

▲『年中仕事割控』の二月。旧暦なので、種ひやし、苗代こしらえの予定がある



んと記載されています。また、一日の終わりに家族でその日あったことを報告し合い、翌日の作業の相談を毎日するように勧めました。これは宵相談といわれています。

幽学の農業改革は、村に計画性と合理性をもたらしました。どの手法も、現在その有効性が高く評価されています。

〔大原幽学記念館 猪野映里子〕

暮らしのカレンダー

- 1日(日) 第20回旭市飯岡しおさいマラソン大会
(8:30～ いいおかユートピアセンター)
- 3日(火) 節分会(市内各寺・神社で開催)
- 11日(水) 建国記念の日
- 16日(月) 市県民税、所得税の申告受け付け開始
(～3月16日(月))

古紙配合100%再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

市内局番「60番台→50番台」「50番台→60番台」へかけるときは「0479」が必要です。

編集後記

昨年末から年明けにかけての忙しさもひと段落。ようやく落ち着きを取り戻したころ、仕事中に寒気を感じました。その後も取材が控えているのに休んではいけない、という気持ちとは裏腹に、悪寒と関節痛が…もしやと思い、病院に行くと、「インフルエンザです」と宣告を受けてしまいました。熱にうなされながら寝込んでみると、健康であるというこのすばらしさを感じ、また寒い日が続きます。みなさんどうぞお気を付けてください。(A)